

2019年10月6日（日） 9:30-12:30 第92回日本社会学会「性・ジェンダー(4)」
東京女子大学 6号館6110号室

性的指向と性自認のあり方を社会調査で いかに捉えるか

大阪市民調査に向けた準備調査における項目の検討と 本調査の結果

Asking about Sexual Orientation and Gender Identity in Social Surveys:
Case Report on the Osaka City Residents' Survey and Related
Preparatory Studies

釜野 さおり

Saori KAMANO

国立社会保障・人口問題研究所

National Institute of Population and Social Security Research

平森 大規

Daiki HIRAMORI

ワシントン大学

University of Washington

※本報告はJSPS科研費16H03709

「性的指向と性自認の人口学－日本における研究基盤の構築」の成果の一部である。

アウトライン

1. 性的指向・性自認のあり方(SOGI)を、社会調査でたずねる意義：何が可能となるのか
2. 社会調査でいかにSOGIをたずねるのか：調査項目を検討した先行研究
3. 大阪市民調査に向けた試験的調査と知見
4. 大阪市民調査でSOGI項目を用いた結果
5. 考察

※ここで想定する社会調査 = 住民を無作為抽出等によって抽出した調査のように、**一般人口を対象とした代表性のある調査**

1 SOGIを社会調査でたずねる意義

- 調査した事象について、SOGIによる統計的比較が可能
 - 経済状況、心身の健康、家族関係、学校、職場、地域での日常の経験など
 - 例：非異性愛者のメンタルヘルスは、異性愛者に比べて悪いのか
【平森報告の収入比較もその例】
- SOGI別の人口割合が推定できる（最終目的ではないが）
 - 「当事者」のみの調査では、「マイリティであること」の影響の検証やマジョリティとの比較は厳密にはできない
 - 「当事者調査」はもちろん重要。非当事者との比較では細かなことは聞けない。調査の目的、役割が違う

2 社会調査でいかにSOGIをたずねるか： 先行研究

調査で扱われる性的指向の4側面

- 本人の性的指向アイデンティティ <今日の発表>
- セックスの相手の性別（異性？同性？…）
- 性的魅力を感じる相手の性別（異性？同性？…）
- 恋愛感情を抱く相手の性別（異性？同性？…）
 - 「好きになる性別」--特に日本の調査で多い

2-2 性的指向のアイデンティティをたずねる項目の検討（米国の先行研究）

フォーカス・グループディスカッション、インタビュー調査、パイロット調査にもとづく知見：

- 「性的指向」「アイデンティティ」という言葉は質問文に入れない方がよい
- それぞれの選択肢の定義や説明は入れない方がよい
- 「その他」や「わからない」を選ぶのは非異性愛者とは限らない
 - 選択肢と異なるアイデンティティを持っている非異性愛者（デミセクシュアルなど）
 - クエスチョニング、クィアの回答者
 - 質問の意味がわからない異性愛者

※「異性愛者問題」
異性愛者に「異性愛者」と答えてもらうのが難しい

2-2 (つづき) 性的指向のアイデンティティをたずねる項目の検討 (米国の先行研究)

- 異性愛者であるにもかかわらず、非異性愛者に分類されてしまう誤り → 非異性愛者割合の過大推定
 - 「異性愛者」の選択肢に「ストレート」が追加された
 - 「異性愛者・ストレート、すなわちレスビアン・ゲイではない」とした
- 異性愛者という言葉を知らなくても「異性愛者」の選択肢を選ぶようにするため
- 「その他」(「わからない」) を「決めたくない・決めていない」と「質問の意味がわからない」に分けた

3 大阪市民調査に向けた試験的調査

目的：同じことをたずねる複数の項目を含む調査票に回答を依頼し、その後、各項目についての意見を得る

方法：

- フォーカス・グループ・ディスカッション
 - 会場で試験的調査票に記入してもらい、その後、モデレーターが質問しながらディスカッション
 - 2017年：関西レインボーフェスタ！会場（5組、合計21人）
 - 2017年11月-12月：「当事者グループ」1組、「非当事者グループ」3組
- メール調査(非当事者 20人)
 - 項目と項目への意見をたずねた試験的調査票を送付し、そこに回答してもらい、メールで返送してもらう

「当事者が不快な想いをせずに回答でき、しかも非当事者にも理解できるものを目指す

3-1 性的指向をたずねる項目候補 # 1 と # 2

問 18 次の中で、あなたにもっとも近いと思うものに☑をつけてください。(☑は1つ)

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------------------------|
| 1. | <input type="checkbox"/> | ゲイ・レズビアン・同性愛者 (同性のみに性愛感情を抱く人) |
| 2. | <input type="checkbox"/> | 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアンではない (異性のみに性愛感情を抱く人) |
| 3. | <input type="checkbox"/> | バイセクシュアル・両性愛者 (男女どちらにも性愛感情を抱く人) |
| 4. | <input type="checkbox"/> | アセクシュアル・無性愛者 (誰に対しても性愛感情を抱かない人) |
| 5. | <input type="checkbox"/> | 決めたくない・決めていない |
| 6. | <input type="checkbox"/> | 質問の意味がわからない |

問 19 次の中で、あなたにもっとも近いと思うものに☑をつけてください。(☑は1つ)

- | | | |
|----|--------------------------|---------------------------------|
| 1. | <input type="checkbox"/> | 異性愛者 (異性のみに性愛感情を抱く人) |
| 2. | <input type="checkbox"/> | ゲイ・レズビアン・同性愛者 (同性のみに性愛感情を抱く人) |
| 3. | <input type="checkbox"/> | バイセクシュアル・両性愛者 (男女どちらにも性愛感情を抱く人) |
| 4. | <input type="checkbox"/> | アセクシュアル・無性愛者 (誰に対しても性愛感情を抱かない人) |
| 5. | <input type="checkbox"/> | 決めたくない・決めていない |
| 6. | <input type="checkbox"/> | 質問の意味がわからない |

3-1 性的指向をたずねる項目候補 # 3

問 20 次の中で、あなたにもっとも近いと思うものに☑をつけてください。（☑は1つ）

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------|
| 1. | <input type="checkbox"/> | ゲイ・レズビアン・同性愛者 |
| 2. | <input type="checkbox"/> | 異性愛者、すなわち <u>ゲイ・レズビアン</u> ではない |
| 3. | <input type="checkbox"/> | バイセクシュアル・両性愛者 |
| 4. | <input type="checkbox"/> | アセクシュアル・無性愛者 |
| 5. | <input type="checkbox"/> | 決めたくない・決めていない |
| 6. | <input type="checkbox"/> | 質問の意味がわからない |

項目のバリエーション：

選択肢の順番を変える（異性愛者が先か、ゲイ・レズビアンが先か）

それぞれの選択肢の説明をいれるか否か

異性愛者のところに、すなわちゲイ・レズビアンではない、をいれるか否か

3-2 性的指向の項目：試験的調査の結果

1. 用語説明はあったほうがよい
 - わからない言葉があると、回答者が不安感を持つ
 - 回答者が自分で用語を調べることを強いる可能性
2. 異性愛者は性的指向の単語に馴染みがなく、理解に時間がかかる。したがって、「ではない」という言い方が一番わかりやすい
3. 「異性愛者、すなわちゲイ・レズビアンではない」が選択肢の最初にあるとよい
 - 「ゲイ・レズビアン・同性愛者」が最初に出てくると当事者のみが回答する設問に見えるため

3-3 性的指向をたずねるもっとも「よい」項目

問 46 次の中で、あなたにもっとも近いと思うものに○をつけてください。(○は1つ)

- 1 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない [異性のみに性愛感情を抱く人]
- 2 ゲイ・レズビアン・同性愛者 [同性のみに性愛感情を抱く人]
- 3 バイセクシュアル・両性愛者 [男女どちらにも性愛感情を抱く人]
- 4 アセクシュアル・無性愛者 [誰に対しても性愛感情を抱かない人]
- 5 決めたくない・決めていない
- 6 質問の意味がわからない

大阪市民調査で使用

2 性自認のあり方をたずねる項目の検討

- 1段方式：
 - 男、女、その他
 - 男、女、トランスジェンダー
- 2段方式：
 - 出生時に割り当てられた性別（届出された性別）と現在、自認する性別
- 多段方式
 - 2段方式プラス、性別を変えたり変えようと思ったか、あてはまるアイデンティティ（英国）
- アイデンティティをたずねる：例
 - 「トランスジェンダー」アイデンティティの有無
 - 「Xジェンダー」アイデンティティの有無
 - さまざまな用語をリストして選ぶ（FTM、MTF、FTX、MTXなど）

2 性自認のあり方をたずねる項目の検討

- 米国で、よいとされた項目：**2段方式**
- 出生時に割り当てられた性別（男性、女性）
- 現在の性自認（男性、女性、その他）

トランスジェンダーのアイデンティティをたずねる項目より、
2段方式のほうがよいとされた理由：

「トランスジェンダー」というアイデンティティを一般人口向けの調査で聞くのは困難であろうという知見が得られたため

3 性自認のあり方をたずねる項目候補#1

2段方式、日本バージョン

問 12 あなたの性別に☑をつけてください。〔出生時の性別〕（☑は1つ）

1. 男 2. 女

問 13 出生時の性別にかかわらず、ご自身が現在認識している性別にもっとも近いものに☑をつけてください。（☑は1つ）

1. 男 2. 女 3. その他（具体的に：_____）

3 性自認のあり方をたずねる項目候補 # 3

アイデンティティをたずねる方法

問 17 次の中で、あなた自身にあてはまると思うものすべてに☑をつけてください。

(☑はいくつでも)

1. <input type="checkbox"/> トランスジェンダー	6. <input type="checkbox"/> FtX	11. <input type="checkbox"/> 不定性
2. <input type="checkbox"/> 性同一性障害	7. <input type="checkbox"/> MtX	12. <input type="checkbox"/> インターセックス
3. <input type="checkbox"/> X ジェンダー	8. <input type="checkbox"/> 中性	13. <input type="checkbox"/> DSDs
4. <input type="checkbox"/> FtM	9. <input type="checkbox"/> 両性	14. <input type="checkbox"/> この中にあてはまる
5. <input type="checkbox"/> MtF	10. <input type="checkbox"/> 無性	ものはない

結果：非当事者にも、ある程度の知識がある人にも、負担が大きかった。わからない言葉があると不安になる。

(全てに説明を付けて読ませ、理解してもらおうのも、大きな負担になる)

4 大阪市民調査の概要

調査方法

調査期間：2019年1月16日（発送）～28日（督促はがきで2月4日まで延長、3月7日到着分まで集計）

調査対象：大阪市在住の18～59歳の15,000人（2018年9月30日時点の住民基本台帳から無作為抽出）

配布と回収方法：郵送配布・郵送回収（ウェブ回答併用）、無記名・自記式

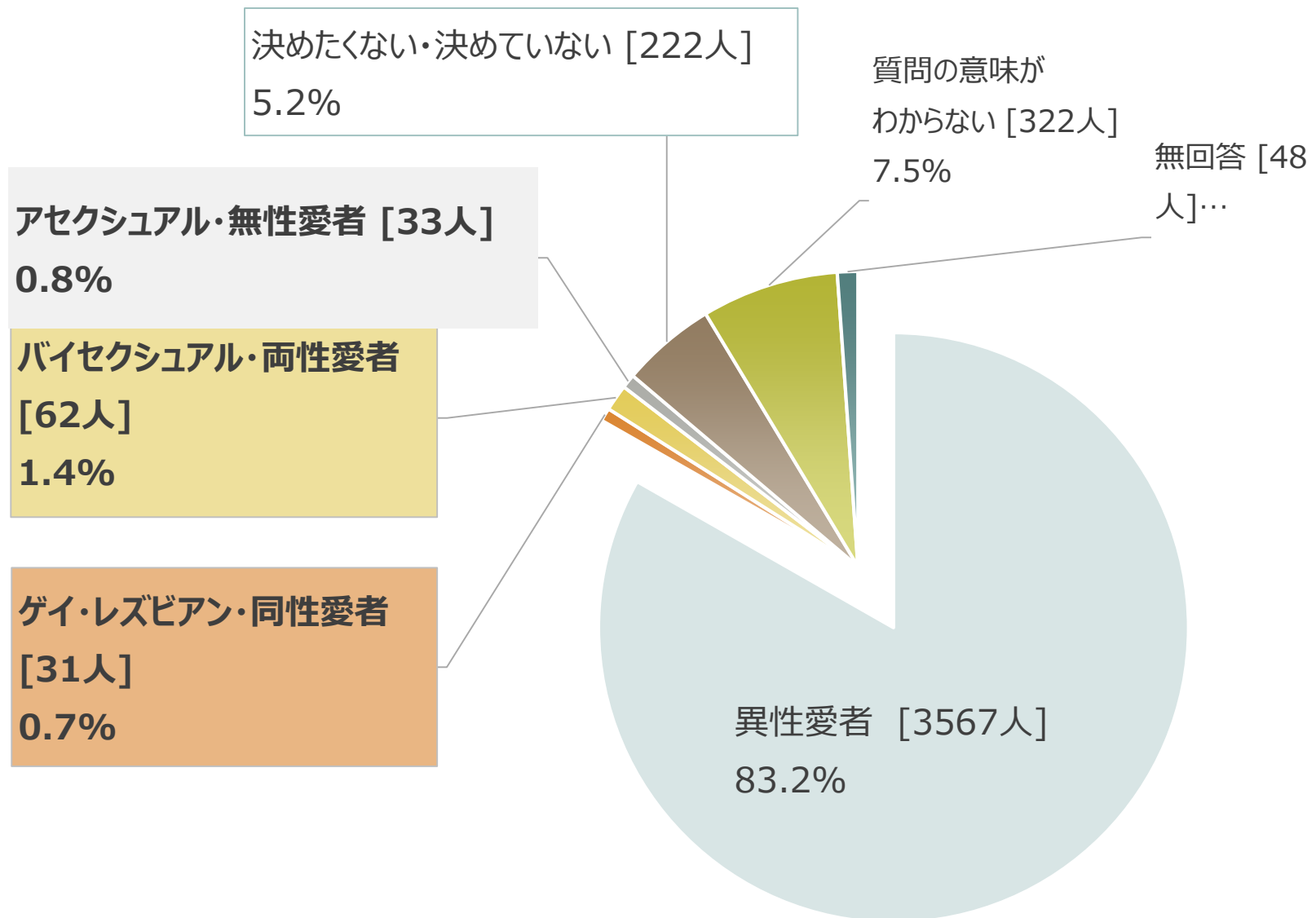
有効回答数・有効回収率：4,285人、28.6%

調査票：55問、14ページ

回答者の属性：出生時性別：女2,517(58.7%)、男1,754(40.9%)、無回答14(0.3%)、年齢：20代以下678(15.8%)、30代1,021(23.8%)、40代1,229(28.7%)、50代1,274(29.7%)、無回答83(1.9%)

研究倫理審査：国立社会保障・人口問題研究所 倫理審査委員会（承認番号 IPSS-IBRA #18003）

4 性的指向の回答分布



4 性的指向の分布： 95%信頼区間（Agresti-Coull 法）

	n	%	95%信頼区間	
			下限%	上限%
異性愛者	3567	83.2439	82.10	84.33
ゲイ・レズビアン・同性愛者	31	0.7235	0.51	1.03
バイセクシュアル・両性愛者	62	1.4469	1.13	1.85
アセクシュアル・無性愛者	33	0.7701	0.55	1.08
決めたくない・決めていない	222	5.1809	4.56	5.89
質問の意味がわからない	322	7.5146	6.76	8.34
無回答	48	1.1202	0.84	1.49
合計	4285	100.00		

5 考察

SOGI項目の改善のためには？

- 「決めたくない・決めていない」の扱いの検討
- 異性愛者問題→多くの人が異性愛者というアイデンティティを持たない（考えたことがない）→考えたことがない、という選択肢を検討？
- 「トランスジェンダー」のアイデンティティをたずねることができる時代がくるか？
- 大都市以外でも、これらの項目は通用するか→全国でやったらどうなるか。どのような調整が必要か
- 18歳未満、60歳以上に通用するか

5 考察（つづき）

- ・無作為抽出による調査でSOGIをたずねる利点を、今度どのように伝えていくのか
 - この類の調査の必要性・重要性を、いかに理解してもらうか
 - 今後の成果にかかっている。
 - 既存の国・自治体の調査、研究者が実施している大規模な社会調査に、SOGI 項目を追加すれば、劇的に情報が増えるのだが
…→統計調査に対し、要望を伝え続ける必要
 - 性的マイノリティ当事者は自分の性的指向や性自認を「こんな調査」で正直に答えるわけがない、という意見もあれば、こうした調査にできるだけ正確に回答したいという声もある
 - 一般社会と当事者コミュニティへの調査についての啓蒙 + 信頼される調査にするための検討の継続

参考文献

Federal Committee on Statistical Methodology. (2018). "Measuring Sexual Orientation and Gender Identity Research Group."

<https://nces.gov/FCSM/SOGI.asp>

Gender Identity in U.S. Surveillance (GENIUSS) Group. (2014). *Best Practices for Asking Questions to Identify Transgender and Other Gender Minority Respondents on Population-Based Surveys*. Los Angeles, CA: The Williams Institute.

<https://williamsinstitute.law.ucla.edu/wp-content/uploads/geniuss-report-sep-2014.pdf>

Sexual Minority Assessment Research Team (SMART). (2009). *Best Practices for Asking Questions about Sexual Orientation on Surveys*. Los Angeles, CA: The Williams Institute.

<https://williamsinstitute.law.ucla.edu/wp-content/uploads/SMART-FINAL-Nov-2009.pdf>

Balarajan, Gray, & Mitchell. (2011). *Monitoring equality: Developing a gender identity question*. Manchester: Equality and Human Rights Commission (EHRC).

https://www.equalityhumanrights.com/sites/default/files/rr75_final.pdf

* 大阪市民調査について

- 調査主体：
 - JSPS科研費（16H03709）「性的指向と性自認の人口学－日本における研究基盤の構築」 「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム（国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 第2室長 釜野さおり 代表）
- 協力：大阪市
- 詳細 <http://www.ipss.go.jp/projects/j/SOGI/index.asp>
 - 「速報」、ならびに「速報へのQ&A」をご覧ください。
 - アンケート実施時の対象者用のHPにも、調査や実施方法についての説明があります。
<http://acv.osaka-chosa.jp/>
- 連絡先：s-kamano@ipss.go.jp

(参考) 「決めたくない・決めていない」の扱い

一般市民に向けた調査における「決めたくない・決めていない」の回答を、ゲイ、レズビアン、バイセクシュアル、同性愛者、両性愛者など特定のアイデンティティを持たないような性的マイノリティ（クィア、クエスチョニング）であると解釈するのが適切か？――要検討

「当事者向け調査」との違い

- 「決めたくない・決めていない」を選択するさまざまな理由：
 - ・性的指向について考えたことがなく、自分はただ単に「普通」と思っており、「異性愛者」というアイデンティティも持っていない。言葉になじみがない
 - ・LGBTについて知識のあるリベラルな人の中には、「自分は本当に異性愛者だと言い切れるのだろうか？」と考える場合も
 - ・回答を考えるのが面倒になった など

参考 「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」 全体像

